



正門前の花壇

麻里布小だより 10月

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/ma>

令和3年10月号 大野元良

体験的に学ぶ中で培われる力！！

2学期が始まり、3週間が過ぎようとしています。子どもたちは、元気いっぱい学習に取り組んでいるところです。こうした中、9月17日には、台風14号接近に伴い、給食後下校の措置をとりました。秋本番を迎え、全ての教育活動の充実に力を入れてまいります。同時に台風や長雨等の自然災害への備えや、コロナ対応を含めた安全管理にも、配意していきたいと考えています。

さて、2学期は5年生の自然教室や6年生の修学旅行を実施する予定です。5・6年生の保護者の皆様には先般の説明会にご参加いただきありがとうございました。また、社会見学などを含めて大きな行事が続く時節を迎えます。日常的な学校生活を、子どもたちの体験学習ととらえることができるのはもちろんですが、学校から足を踏み出す教育活動は、体験活動としての色合いが強くなることは言うまでもありません。

学校の教育活動とは話題がそれる上に私事で恐縮ですが、体験的な学びに関連する自身の経験を記してみます。私は周東町の兼業農家で育ち、小学生の頃から機械操作に興味があったことから、トラクターなどの農機具を扱うことが大好きでした。同時に、祖母や両親が汗を流し、息を切らしながら作業をする姿も見てきました。また、秋にはお米の収穫の喜びを体感したものです。こうした中で、子どもなりにやろうとしたこと、感じたことを様々にふり返ることができます。

家族の作業が軽減できるように効果的な機械の操作を工夫しようとしたことは、子どもなりの家族への思いやりの気持ちをもつことや、作業の手順（段取り）を学ぶ場であったような気がしています。また、作付面積あたりの植え付けに必要な稲の苗の分量や収穫量を考えることもあり、思い返すと、算数科の「単位量あたりの大きさ」につながる学びがあったことを回想できます。

つまり、経験（体験）の中では、意図しない学びが存在して、子どもが気づかないうちに培われる力があるように感じるのです。皆様にも、様々なご経験の中での学びをふり返ることがおありではないでしょうか。

学校行事は、その全てに教育的目標を設定して、企画・実践しています。子どもたちには、目的意識を高めて参加させることを大切にしております。

また、学校を離れた活動では、子どもたちにとって意図しない学びもたくさんあるはずです。2学期に実施する体験的な学びの中で、学年や学級に、そして一人一人に、幅の広い確かな力が培われるよう活動の場を提供してまいります。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。



～確かな学力推進研究指定校として～

麻里布小・中学校は、岩国市教育委員会から令和3・4年度の2カ年にわたり「岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」の指定を受けています。

子どもたちの学力向上のために、日常的な研修を大切にしていますが、本年度は『すべての子どもが「わかる」「できる」授業をめざした、学習・指導方法の改善の推進～授業のユニバーサルデザイン化を通して～』を研修主題に掲げ、教職員が一丸となった取組を推進しています。

研究の方向性としては、

- ・授業のねらいや活動を絞り込む「学習の焦点化」
- ・情報伝達をスムーズにすること「学習の視覚化」
- ・協働的な学びにより理解を進めたり深めたりすること「学習の共有化」

の3点を中心に研究を進めることにより、子どもたちにとって「わかる」「できる」ことの実感が伴う授業づくりをめざしていくことをイメージしています。

1学期は、6年3組で国語科の授業をとおした全体研修を実施して、研修の方向性や今後の展開を確認しました。2学期は、10月26日に市内の教職員を招き、4年1組で社会科の授業を公開して、研究指定1年次の取組を発表する予定です。



ありがとうございます！ ～学習支援ボランティア～

6年生の家庭科の学習では、9月からナップザックづくりに取り組んでいます。しつけ縫いやミシンがけなど、いくつかの過程を経て、完成品は修学旅行で使用する予定です。子どもたちも楽しみにしている学習です。

このたび、学校運営協議会委員の若林邦江様のお声かけにより、多くの地域の皆様にしつけ縫いやミシンの使い方等の学習支援にご協力いただいています。

作業のアドバイスをいただけることはもちろんですが、地域の皆様に子どもたちの様子を見ていただき、関わりをもつていただけることを何よりありがたく感じているところです。

ご協力いただいた皆様には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

今後も、他の学年でも様々な場面で地域の皆様のご支援をいただきたいと考えています。よろしく願いいたします。



薬物乱用防止教室を開催しました！

9月16日（木）に、6年生を対象に標記の教室を開催しました。学校薬剤師の河田尚己様を講師に迎え、薬物乱用が心身に及ぼす害と、社会に与える影響等について学習しました。

夏に開催されたオリンピック等の話題を取り上げながら、子どもたちに分かりやすく薬物の恐ろしさについてご指導いただきました。



～学力の定着をめざして～

9月から、水曜日の放課後を中心に、5・6年生の希望者を対象に、学習教室を開始しました。学校運営協議会委員の方や、地域の皆様のご協力をいただきながら運営するものです。

宿題や個別の課題等に取り組む中で、子どもたちが自ら学ぶ意欲を高め、学力の定着につながることを期待しています。

